

こころこころこころ

2021年発行
vol.
61

脳神経内科医として認知症の早期発見、
長期にわたる治療に力を注いでいます

診療技術部長 吉丸 公子

- ・臨床検査室紹介
- ・デイケアニュース プログラム紹介
- ・7月の県民公開講座 開催報告

脳神経内科医として 認知症の早期発見、 長期にわたる治療に 力を注いでいます

診療技術部長
吉丸 公子

医学博士 神経内科専門医
総合内科・老年科・認知症・頭痛専門医
長崎大学医学部卒業。10年前から三重県立こころの医療センター
に勤務。三重中央医療センター神経内科外来担当、三重大学脳
神経内科 認知症センター 助教。2021年1月より三重県立こころ
の医療センター診療技術部長に就任。



三重県立こころの医療セン ターで10年前から精神 科医と分担して、神経内科医 として「もの忘れ外来」を担当 しています。認知症を根本的 に治療する方法自体はまだ見つ かっておりませんが、早期に症 状を発見し、地域の介護ケアと 連携しながら治療を進めること で、その後の人生を住み慣れた 場所で穏やかに暮らしていくこ とができる可能性が広がります。 脳神経内科医だからこそ できる役割を果たしていきたい と考えています。

地域の開業医の方は「かかりつけ医」として多くの高齢者の方の受診にあたってみえること
でしょう。気になる症状が見ら
れた際には早期の対応が必要
となりますが、精神科の受診を
紹介されることには抵抗を感じ
る方でも、神経内科の受診であ
れば比較的受け入れやすいかと
思います。

す病気はアルツハイマー型などの
認知症だけではありません。
脳梗塞やパーキンソン病、脳腫
瘍、糖尿病にアルコル性認知
症などさまざまな原因が考え
られます。初期の段階で正確
な診断を下して、適切な治療
を行っていかねばなりません。
担当する「もの忘れ外来」
では神経内科の専門医として
培ってきた知識・経験を生かし
て、早期の診断・治療に繋げて
います。

2021年1月からは常勤医
として外来患者の方だけでなく
入院患者の診療も担当させてい
ただくようになりました。今
までは認知症で入院となった患
者さんは精神科医の医師の方に
引き継いでいましたが、入院中
から退院後まで一貫してみてい
くことができるとい思いを
ようやく実現することができま
した。

認知症の患者さんが見せる
症状は千差万別です。それま
でに歩んできた生活や職業が投
影される場面も。患者さんの
人生やご家族との関係、経済状
況などさまざまな要素を受け
止め、対応していくことが担当
する医師に課せられた使命だ
と感じます。患者さんにとって

も医師にとっても一生向き合っ
ていかなければならない病気。
多大な時間と労力をかけないけ
ればならず、一般的な医療機
関では対応に苦慮する面もあ
ると思いますが、認知症疾患医
療センターはその役割を担うた
めの存在。認知症の専門医と
して自分自身が最もやりがい
を得られる場所だと思っています。

オフタイムは？

4人家族にワンちゃんのいる生活。家事にペットの世話と楽しく暮らしています。

新型コロナが終息して、再び趣味の旅行に行けるようになる日が待ち遠しいです。



ご家族の症状が気になる方へ
うつ病などで通院されている患者さんの中には、高齢のご両親のもの忘れなどの症状が最近気になるという方もみえます。早期発見に繋がられるように、お気軽にご相談ください。

日常

旅行

治療状態の確認に大切な役割を果たす「臨床検査」

検査とは、辞書には「ある基準をもとに、異常の有無や不適を調べる」と書かれています。特に人体に対して、血液や尿・便などを調べたり、脳波や心電図などを測定する検査のことを「臨床検査」と呼びます。その目的は、

- 健康状態を知る
 - 異常の原因を調べる
 - 治療方針を選択する
 - 治療状態を確認する
- などさまざまあり、どれも必要不可欠な情報です。

臨床検査には、人体から採取した血液や尿などを調べる検体検査、心電図や脳波、超音波など直接人体を調べる生理検査があります。

こちらの医療センターには、血液検査や尿検査、細菌検査、脳波や心電図、超音波検査など20種類近い検査機器が揃っています。精神科の病院ですが、総合病院とほぼ同じレベルの検査が院内でできます。

さまざまな検査を外部委託に出さずに院内でできるメ

自分の身体の状態を知るために定期的に検査を受けましょう

臨床検査室

総合病院と同等の検査機器を揃えた院内検査で、受診当日に検査結果を医師に伝えられるように取り組んでいる臨床検査室。投薬治療の効果確認や健康状態の把握に重要な役割を担っています。



投薬の影響を測る上で重要な役割を担う血液検査。受診当日に検査結果が出ることで、迅速な対応に繋がります。



新型コロナウイルス感染対策として院内でのPCR検査・抗原検査にも対応しています。



超音波検査や心電図、脳波などの検査装置も。患者さんの健康状態を正確に把握できるように努めています。



左から臨床検査技師の濱さん、尾邊室長、川崎さん、久富さん。

身体の状態が精神状態の悪化を招いていることも

院内で検査を行い、その日の内に検査結果を得られることで、患者さんの状態に深刻な影響が及ぶことを防ぐ役割を果たしています。

薬の効果、影響だけでなく、患者さんの健康状態を確認するのも検査の大切な役割です。患者さんの中には身体の状態が影響して精神状態の悪化を招いているケースもあります。たとえば、うつ状態で受診される方の場合、甲状腺機能の

リットは、何と言っても当日、すぐに検査結果を得ることができるとあります。血液検査で投薬している薬の影響を測る際、外来の患者さんの場合、検査を外部委託に出していると、翌月来院されたときに検査結果を元に医師が薬の量などの調節を行うことになり、結果的に1ヶ月遅れでの対応になってしまいます。しかし、院内での検査であれば1時間ほどで検査結果が出るので、当日に薬の調節を行うことができます。

新型コロナウイルス感染症対策でPCR検査・抗原検査も

低下が関連している可能性もあり、医師の検査依頼に即座に対応できる態勢を整えています。意識障害の症状が見られてんかんが疑われていた患者さんが、検査の結果、心臓に問題があったことが判明したこともあります。こうした内臓の健康状態の確認からときには血中薬物濃度まで、4人のスタッフがフル回転で検査にあたっています。

昨年から猛威を振るう新型コロナウイルスの感染対策としても、検査室は重要な役割を担っています。院内感染を起さないために、患者さんの入院時や発熱時にはPCR検査や抗原検査を行い、即日結果を報告しています。

認定資格を有する経験豊富なスタッフが揃ったこちらの医療センター臨床検査室では、このようにさまざまな面から患者さんの身体の状態を把握し、治療の充実に取り組んでいます。

デイケアニュース

第4回

こんにちは!デイケアです。
今回はプログラムの一部を紹介します。



図書室オープン!



原田前院長のご家族から寄付していただいた医学書のコーナーや雑誌や漫画などを用意しています。利用者の皆さまが自分の病気のことを学べる開かれた場所になればと思います。また、「静かな環境がほしい」「音に対する過敏さがしんどい」などの声に応じ、ゆっくりと過ごせる部屋としても活躍しています。

ゆるゆるリフレッシュ



自宅でも取り組めるように、比較的負荷の少ないストレッチやヨガ、簡単なエクササイズなどを実施しています。「ちょっと身体を動かしたい」「リフレッシュしたい」という方にオススメです。

マインドフルネス



コロナ禍で思ったように気分転換ができない、自分を責める思考がしんどいとの相談が増えています。そこで、いつでもどこでもできるスキルとしてマインドフルネスを定例プログラムにしました。さまざまな体験を通して、注意(思考)の切り替えや自分を受け止める練習をしています。

はなきん



プログラム名は、一週間頑張った自分へのご褒美の時間となるよう『花の金曜日』からつけました。利用者の皆さまから寄せられた意見をもとに、七宝焼きやレジンなどの創作活動、好きなテーマを決めて『〇〇を語る会』を実施するなど、プログラムの内容はその都度工夫しながら柔軟に展開しています。

令和3年度 こころの県民公開講座

『薬だけじゃない認知症ケア』 ～多職種からのアプローチ～

昨年はコロナ感染拡大防止のために開催できなかったため、今回が第10回目となる県民公開講座を7月10日、三重県人権センター(多目的ホール)で開催しました。今年は会場定員を50名とし、オンデマンド配信も実施しての開催でした。森川院長をはじめ、伊藤看護師、中川作業療法士、川上管理栄養士が講演しました。



森川院長



こころのイベント
開催報告

外来担当医

※休日／土・日曜・祝祭日及び年末年始

■ 初診外来は、予約制です。ご予約先：初診外来予約専用電話059-253-3120(9:00~13:00)

	診察室1	診察室2	診察室3	診察室4	診察室5	診察室6	診察室7	診察室10	診察室11	診察室12
月	初診(精神)	田邊		濱本	前田	初診 (アルコール)		山城	竹田	
火	初診(精神)	森川		芳野	中瀬	吉見	小畑	藪	(もの忘れ) 吉丸 脳神経内科	(PM・母子メンタル)岡野
水	初診(精神)		乾	濱本	佐野			山城	(もの忘れ) 吉丸 脳神経内科	楠本
木	初診(精神)	森川	乾			西	小畑		富崎	
金	初診(精神)	佐野		芳野		初診 (アルコール)	吉見	藪		(AM-もの忘れ)森川

※令和3年10月から

編集後記

気がつけば…もう秋ですね。でも年々、その秋が短くなってきているように思うのは私だけでしょうか?
難しいことはわかりませんが、なにやら地球温暖化が影響しているそうです。きれいな紅葉の色づきが見られなくなってしまうのではないかと心配な今日この頃です。

広報委員／作業療法グループ／矢崎



三重県立こころの医療センター

〒514-0818 三重県津市城山1丁目12-1
TEL 059-235-2125 FAX 059-235-2135

URL <http://www.pref.mie.lg.jp/kokorohp/hp/>

